

# コース使用上のルール

## 【オートバイ編】

### はじめに

スポーツ走行においては、モータースポーツライセンスなどの資格を必要としない為、各々が独自の基準で走行していることが多く見受けられます。中には、そもそもルールを知らないで走行している方が居るかもしれません。そのような危険性をできるだけ抑えるためにルールブックで最低限のマナーを会得し、皆さまがある一定の方向を向いて安全な走行を心掛けて頂きたいと思います。

### 車両の準備

- ✓ 整備した車両で走行してください。とくにボルト&ナットの確認は念入りに！
- ✓ センタースタンド、ミラー、ナンバープレート等の突起物は取り外してください！
- ✓ キャブレターのインテークボックスを取り外している場合は、必ずガソリンキャッチタンクを取り付けてください。
- ✓ ガムテープや簡単な工具を持参し緊急時に備えてください。

### ライダーの準備

- ✓ 走行時間外(事前に)にコースを徒歩で確認する習慣を身に付けてください。
- ✓ 服装と装備が適切であるか確認をお願いします。
- ✓ コースの使用方法を把握してください！不明な際は係員にお尋ねください。
- ✓ 走行中に危険なライダーに遭遇したら“その物体に”近づかないようお願いします。また必要に応じて係員に報告をお願いします。

### 走行のルール&マナー

- 1) コースインとコースアウトは決められた順路を走行してください。
- 2) 走行開始の合図が出るまでコースインしないようお願いします。
- 3) チェッカーや赤旗が振られたら、そのまま1周廻ってからピットインしてください。
- 4) 黄旗が振られた場合は、「前方に危険あり！」と判断し安全な速度を維持して走行してください。
- 5) 何らかの理由によりコース内が「危険」と判断した場合は、赤旗で走行を中断することがあります。
- 6) オイル漏れを起こしてしまったり、発見したら速やかに報告をお願いします。状況により赤旗で中断しオイル処理を行った後に走行を再開します。

## スポーツ走行時に使用する旗の意味

1) 黄旗 = 転倒などにより障害がある時に掲示します。

対処：追い越し禁止を維持し安全な速度で走行する。



2) 赤旗 = 走行を中断します。

対処：安全な速度に減速し、ピットに戻る。走行継続不可。



3) オレンジボール = 車両にトラブルが発生した時に掲示します。

対処：ピットに戻り修理してから走行を再開してください。



4) チェッカー = 走行終了

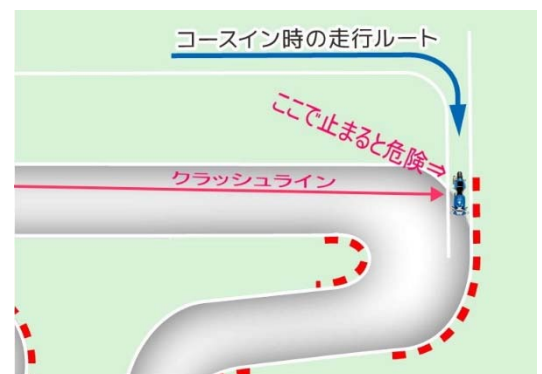
対処：安全な速度に減速し追い越し禁止を維持しピットに戻る



## 危険な実例

1) コースインの際、ストレートの延長線上で停止(待機)している！

この位置は、ブレーキトラブルに見舞われた車両が勢い良く突っ込んでくる場所です！ 一歩間違えればTボーンクラッシュで即死！なんてことになりかねません。この危険性を悟らないライダーは、そもそも野性的感性が欠如している危険なライダーかもしれません。



- 2) セッション中、1 コーナーを徒歩で横断したり、逆走でピットに戻る！  
ハイスピードでオーバーランしてくる車両やブレーキが抜けた車両と正面衝突する可能性大。1 コーナー外側で停車したりウロウロすることはとても危険です！
- 3) コース脇に止っている！  
コース脇で停車や待機はできません。ピットロードに移動してから待機ください。
- 4) 転倒後その場から動かない！（負傷して動けない場合を除く）  
2 次災害を防ぐために、まずは安全な場所へ移動してください。自分が転倒した場所は他人も転倒する場所。転倒場所でエンジンスタートなんてもっての外！まずは移動しましょう！
- 5) コースイン時に“無確認&ハイスピード”でコースに進入！  
これ、意外に多いです。  
状況判断能力が乏しい、とても危険なライダーの典型的な行動パターンです。恐らく公道でも同じように走行しているものと想われます。このようなライダーを見かけたら、まずは距離を置きましょう！
- 6) 猛烈なスピードでピットイン。  
5)の方に多いです。マジで怖いので本当に勘弁して欲しいです。
- 7) コース外を走行(脱輪)！  
白線より外側はエスケープゾーンの扱いです。白線外を走行ラインとして使用すると安全マージンを失いとても危険！そもそもラインを無視した走行は非スポーツマンシップ的行為であり、カッコ悪いのでやめましょう！
- 8) セッション中、コース内に進入するメカニック！  
他の走行者に対してかなり迷惑です！己の判断でコースに入らないでください！
- 9) 前後左右を気にせず走行する「殿様走行」（初心者に多し）  
サーキットとは言え我が道を行かないでください！走行中は常に前後左右の状況を把握しながら走行すると共に、各々がある程度のモラルを持って走行することにより安全で公平な走行が成り立っています。「殿様走行」は他人に危害を与えるだけでなく、大事故を誘発する可能性があります。

